

～令和4年度福島空港消火救難総合訓練を実施しました～

9月4日午後、旅客機がエンジン故障により福島空港に緊急着陸・炎上するという想定で、初動通報、消火活動、救出救護活動、搬送活動訓練を実施しました。

航空局・消防・警察・医師会・運航会社・市町村・空港関係機関・福島県など約200名が参加し、事故発生時の対応について実践に即して確認をしました。

福島空港では、こうした消火救難総合訓練を2年に1回実施しています。



●消火活動●

福島空港で所有する化学消防車のほか、広域消防・消防団による消火活動で、事故機炎上を想定し一斉放水を行いました。

●救出・救護活動●

救出された搭乗者は、トリアージ後に、重傷者は赤テント、中等傷者は黄テント、軽傷者は緑テント内で応急治療が行われました。



●搬送活動●

重傷者が出た場合を想定し、ドクターヘリの出動を要請した緊急搬送活動訓練も実施しました。

●終了式●

訓練終了後、参加者が集合し講評をいただきました。

福島空港では、こうした訓練を通して、事故発生時に迅速に対応できるよう常に備えています。

